

水俣病関係 調査協議会 初の会合

水産庁を中心とする水俣病関係調査協議会の第一回会合が二十六日熊本市水前寺荘でひらかれ、熊大側からこれまでの研究結果をきいて同庁の今後の調査方針を協議した。

これは厚生省の諮問機関であった水俣食中毒部会の解散に伴い、原因究明の主体が水産庁に

移ったことから、同庁が具体的調査に乗り出してきたもの。

この日は同庁の曾根研究第一課長佐々木技官、淡水区水産研究所の町田技官、西海区研究所の伊藤所長、東大農学部、松江教授、同橋本助教授、九大農学部の石尾、波部両助教授らが出席、熊大医学部の世良学部長、喜田村、内田、入

鹿山各教授、同大理学部の南葉、後藤両教授らからこれまでの熊大側の研究結果をきき、意見を交換したあと、熊大のこれまでの研究と重複しない方針で水産庁独自の研究体制をどうするかについて協議した。

一行は二十七、八の両日現地を視察したあと三十日離熊、同庁に帰って具体的調査研究計画をつくることになっている。